

レニショー、**REVO®** マルチセンサーシステム向けの新しい非接触式ビジョンプローブを発表

レニショーでは、三次元測定機（CMM）上で REVO 5 軸計測システムと使用するための、新しいビジョン測定プローブ（RVP）の発売を発表します。RVP はこれまでのタッチトリガー、高速接触式スキャニング、表面仕上げ計測機能に加えて、非接触式計測を実施できるようにすることで、REVO マルチセンサー機能を拡張します。

特定のアプリケーションでは、従来の接触式検査方式よりも非接触式計測を使用することで、大きなメリットが得られます。例えば、0.5mm 程度の小さな穴が多数開けられた薄い板金パーツやコンポーネント、および接触式計測に適していないパーツなどは、RVP システムで完全な測定を行うことができます。さらに RVP は、REVO ヘッドによる 5 軸移動と無限の位置決め機能を活用することで、スループットと CMM の機能を大幅に向上します。

RVP システムを構成するプローブと一連のモジュールは、REVO で使用できる他のすべてのプローブオプションと自動的に交換できます。複数のセンサーから取得したデータは、共通の基準を自動的に参照します。このような柔軟性により、最適な工具を選択して、1 台の CMM プラットフォームで幅広いすべての形状を検査することができます。

RVP の使用時には、各モジュールに統合されたプログラム可能な LED ライトを使用してパーツに照明を当てることができます。さらに、背景の機能拡張として、専用のパーツ治具を組み合わせたバックライトを用意しています。

RVP システムは REVO と同じ I++ DME 準拠のインターフェースにより制御され、ユーザーはレニショーの MODUS™ 計測ソフトウェアで操作することができます。新しい MODUS ビジョンソフトウェアの機能としては、RVP の設定、アプリケーションごとのオプションを備えた画像処理、評価と詳細解析用の自動画像保存などがあります。

レニショーでは、2015 年 10 月 5 ～ 10 日に EMO 2015 展にて新しい RVP システムのデモを披露しますので、ホール 5、D15 スタンドまでお立ち寄りください。

詳細については、www.renishaw.jp/cmm を参照してください。

以上